

# ゆうこう便り

発行:北口雄幸事務所  
士別市東7条9丁目  
Tel0165-22-3100  
fax0165-23-4356

# 保健福祉委員長に就任

## ふるさと 郷土の安全・安心に向け、決意新たに！

### 6名が党派離脱

4月30日から3期目がスタート。この日、下記の表のとおり各党派の届出がなされました。連合推薦を受け、また民主党公認や推薦で当選しながら、1名が自民党会派入りし、5名が新しい会派を結成しました。この結果、101名の議席に対し、自民党・道民会議が51名、民主党・道民連合26名、

会派名	改選前	改選後
自民党・道民会議	45名	51名
民主党・道民連合	36名	26名
北海道結志会	—	12名
フロンティア	4名	—
北海道・大地	2名	—
公明党	7名	8名
日本共産党	1名	4名
無所属	1名	—

北海道結志会12名、公明党8名、日本共産党4名の議会議構成となりました。民主党・道民連合は、改選前(36)より10名減少したことになります。厳しいスタートです。



北海道議会保健福祉委員長に就任しあいさつ(5月20日)

**STOP!**  
新たな安全保障法制

## 戦争をさせない 士別市民集会

今なぜ、戦争ができる国づくりを進めるのか。

今ならまだ、止められる。

**8月3日(月) 午後6時~7時30分**  
士別市民文化センター小ホール  入場無料

- 基調講演「士別市における治安維持法(戦前)の悲劇」  
講師 宮田 汎 氏(元士別高校教諭)
- ヒロシマ体験学習報告  
講師 宮田 汎 氏

— 戦争をさせない士別市民集会実行委員会 —

### 地域医療を守る

5月14日からは、議会構成などを決める臨時議会が招集され、議長には遠藤連氏(苫小牧市)、副議長には三井あき子氏(旭川市)が選出されました。

また、各委員会の構成も決定し、北口道議は保健福祉委員会の委員長に就任。委員長就任にあたり、「まずは、地域医療を確保することだ。これから地域医療構想(ヒジョン)が議論されるが、北海道で安心して暮らせる医療体制を確立していきたい。」と決意を語りました。また、保健福祉委員

### 林活は事務局長

道議会議員全員が加盟し、超党派で運営する北海道森林・林業活性化推進議員連盟の定期総会が、6月29日開催され、北口道議は事務局長に就任しました。

# 第二回定例道議会報告(6月16日~7月10日)

## 未成熟な思いつき予算

第2回定例会に提案された政策補正予算には、高橋知事が「知事選での公約の多くを張り付けた」としましたが、政策としての熟度が不十分で、思いつきの事業、施策ばかりが目立つ予算となりました。

道財政の改善は進まず、国直轄事業負担金の計上を留保しての赤字予算の編成が9年連続となり、すっかかり恒常化した。財政状況が

好転せず、道債残高が減らない理由を知事は、「国の臨時財政対策債の増発が原因」としていますが、知事の予算編成は、その臨時財政対策債や、国の各種の経済対策基金、交付金等ですじつま合わせをしてきた。

知事は、人口減少問題を最大の課題としていますが、この問題は、最近、突然に発生したわけではありません。知事の3期12年の道政運営等における取り組みを検証し、その反省点としては、

実効性のある政策を展開することはできません。国の政策を垂れ流すのではなく、道民や自治体との協働で、各地域で実効があがる施策、事業にしていかなければなりません。

## 地域に配慮した政策を

安倍政権が、診療報酬の抑制、介護報酬の引き下げ等の施策を相次ぎ打ち出し、医療・福祉の維持確保も心配されています。

これは、道内においても、周産期医療の危機的な状況が加速し、地域での少子化対策の基盤が崩れかねません。また、日本創成会議の首都圏高齢者の他地域への移動促進策など、人や地域へのやさしさ、思いが欠けた施策も相次いでいます。地域で暮らし、子どもを産み育てる基盤づくりのため、積極的な施策・事業の展開が求められているのです。知事は、道産食品輸出1千億円の目標を掲げていますが、その基盤である一

次産業は、TPP交渉の進展懸念や、ロシア200海里内サケ・マス流し網漁の終息、オホーツク海ホタテの悪天候被害等によって厳しさを増す一方です。地域で暮らし続け、稼ぎ続け、地域の産業と産物を守るために、しっかりと地域に足を踏まえた施策、事業こそが大切であります。

## 進まない「脱原発」

「脱原発」の北海道を目指すためのエネルギー施策についての知事の姿勢は、判断も施策展開も国まかせで、「脱原発」を希求する条例を有する北海道でありながら、取り組み姿勢は極めて消極的です。

地域交通の確保についても、道民の足を守る知事の意識は希薄です。北海道新幹線の円滑受け入れを理由にして、地域路線の合理化を言うJR北海道の姿勢には大きな問題があります。こうした課題に、道は財政面も含め積極的に関わり、

リーダーシップを発揮すべきと考え、今後もうこうした問題意識に基づく議論を展開し、道の対応をチェックしていきます。

## 採択された決議・意見書

- ◆飲酒運転根絶を宣言する決議
- ◆TPP協定交渉に関する決議
- ◆ロシア連邦の200海里水域におけるサケ・マス流し網漁業に関する決議
- ◆地方財政の充実・強化を求める意見書
- ◆改正耐震改修促進法によるホテル・旅館等大規模建築物の耐震診断結果公表の猶予を求める意見書
- ◆義務教育の機会均等の確保と教育予算の確保・拡充を求める意見書
- ◆介護報酬の見直し等に関する意見書
- ◆ロシア連邦200海里水域におけるサケ・マス流し網漁業の禁止に伴う支援を求める意見書
- ◆林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書
- ◆道路の整備に関する意見書

※ 民主党会派としては、「憲法解釈変更による集団的自衛権行使容認の閣議決定撤回と関連法案の取り下げを求める意見書」を提案しましたが、自民会派等の反対で否決されました。



予算特別委員長及び保健福祉委員長として審議経過を本会議で報告(7月10日)

写真で振り返る北口道議の活動記録(4月〜6月)



士別地区森林組合通常総会で挨拶 (4月30日)



札幌近郊の八剣山(498.8m)山頂(5月9日)



労働法制改悪反対を街頭から訴え(5月24日)



全国自治体議員学習会(5月26日)



→ 士別市職員OB会総会(4月22日)  
← きたごりんファームで田植え作業(5月23日)



→ 道北歌謡研究会会員歌唱発表会  
会場で挨拶(4月18日)



士別市九十九大学・大学院入学式(5月8日)



TPP交渉の国会決議を求める緊急集会(5月16日)



士別市地域要望現地調査に同行(6月8-9日)



# 北口ゆうこう奮闘日記

http://y-kiaguuchinet/

北口道議の奮闘ぶりをブログから抜粋して紹介します。(4月～6月分)

## ◆4月7日【甜菜振興協議会】



JA北ひびき甜菜振興協議会総会

▼今日、北ひびき農協甜菜振興協議会(菅原美喜雄会長)の第11回定期総会が開催された▼冒頭、菅原会長は、「昨年の甜菜は、5年ぶりに平年を上回り、努力が報われた出来秋であった。甜菜は、地域にとっても重要な作物であり、昨年糖度基準が見直されたことは、来

年も豊作を祈っている。また、今年の6月28日には、第3回目となる「ビートまつり」が開催されるので、多くの皆さんのご来場をお願いしたい」とお話しされた。その後、甜菜作付優良農業者の表彰がなされ、移植の部で15名、直販の部で12名の皆さんが表彰された。

◆4月25日【羊飼いの家リニューアルオープン】▼今日は、羊飼いの家のリニューアルオープンに出席してきた▼土別市の観光拠点の施設となっている「羊飼いの家」は、開設から23年が経過したことから、昨年10月から1億2千万円(備品も含む)をかけて改修工事に



上富良野町土地改良事業について要請

入っていた▼その工事も終了し、今日リニューアルオープンとなったのである。真新しく改装され、市民がくつろげる広場なども設置し、来年の観光にも弾みがつきそつだ。また、羊肉を使ったメニューも開発され、今日はそのメニューも美味しくいただいたところだ。



上川管内自治体議員フォーラム講演会

◆5月30日【自治体議員フォーラム】▼昨年5月17日に私が代表として上川管内自治体議員フォーラムを結成。第1回記念講演会を開催してきた▼第2回目となる今回の講演会には、統一自治体選挙後でもあり44名が出席。人口減少問題による「地方創生」について議

論し、道庁から「北海道の地方創生の取り組みについて」、上川総合振興局からは「上川地域における地方創生の取り組みについて」、それぞれ講演をいただいた。その後、講師を交えて懇談会も開催し、意見交換と交流を深めた。



第3回土別ビートまつりで挨拶

◆6月28日【ビートまつり】▼土別ビートまつりは、てん菜の作付拡大と砂糖の正しい認識と消費拡大を目的に、2011年に第1回目を開催。その後2年毎に開催し、今年で第3回目の開催となる。(中略)▼また、天塩川の源流のマチとして、天塩川の水とてん菜から作られた砂糖「ビートオリゴ」を

使い開発したサイダー「天サイダー」の完成発表会も行われ、先着3千本の無料配布がなされた。また、命名とラベルの作成に尽力された土別翔雲高校総合ビジネス科の生徒たちに感謝状が贈呈された。

## 【コラム】

▼戦争への足音が近づいている。安倍政権は、多くの国民が懸念や反対している集団的自衛権を可能とする法案を強行採決した。それは、戦前への逆戻りである▼70年前、私たちの先輩は、「二度と戦争はしない」との決意で現在の憲法を制定した。憲法9条では『戦争をしない』ことを決めている▼先の大戦では、全国で31万人、北海道でも約11万人が犠牲になっている。私の伯父も戦死しており、戦争を報道するテレビを見る祖母の姿がとても印象的だった。それは戦死した子を持つ母の姿であった▼私たちの子や孫を戦場に送ってはいけない。送らないために、政府の法案(いわゆる戦争法案)を成立させてはいけない。将来に禍根を残さないために、やれることをやり抜こう。(ゆうこう)